

JR連合への総結集と
労使の信頼関係構築へ全力をあげ
職場からの安全確立
政策課題の解決・前進を図ろう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円(但し組合費に含む)
●発行者/荻山市朗 ●編集者/宮野勇馬

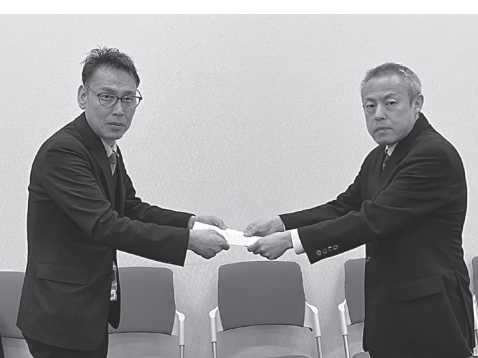


JR連合



(旧 twitter) JR連合

国交省物流・自動車局への要請 労働条件改善・人財確保に向け 制度見直し・補助拡充求める



自動車連絡会の矢田代表幹事(左)より物流・自動車局の齋藤室長に要請書を手交

JR連合自動車連絡会は4月17日、国土交通省物流・自動車局への要請行動を実施した。要請には自動車連絡会幹事及び各単組の代表者ら総勢16人が出席し、深刻な人手不足に陥るバス産業が抱える課題について、現場の実態を踏まえた主張を訴え、実務担当者らとの意見交換を行った。

冒頭、自動車連絡会を代表して挨拶に立った矢田幹事(「JR西労組」日本JRバス地本執行委員長)は「コロナ禍収束により人財が活性化し、収入も回復してきたが、まだコロナ禍前の水準には及ばない。離職により人手不足は深刻な状況にある。他産業より長い労働時間・低い賃金を改善し、人財の確保定着を図るべく、運賃制度の見直しや補助の拡充等を求める」と述べた。

同日開催した自動車連絡会幹事会に、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する森屋隆参議院議員が駆けつけた。森屋議員は「条件改善についても議論されなければならない。JR連合自動車連絡会と課題共有と連帯の挨拶を受けた。JR連合自動車連絡会からは「公共交通のあり方に関する議論が進められているが、バス産業をどうするか、そこで働く者の労働条件改善についても議論されなければならない。JR連合自動車連絡会と課題共有と連帯の挨拶を受けた。」と述べた。

森屋議員を囲む各幹事と単組代表

「高乗乗合バスの運賃・料金における下乗乗客の対応」「燃料費高騰への対応」「新賃金・新紙幣対応およびキャッシュレス決済導入に欠ける旨を強く訴えた。」

森屋議員を囲む各幹事と単組代表

森屋議員を囲む各幹事と単組代表

森屋議員を囲む各幹事と単組代表



積極的な意見を交わす議員懇所属各議員

第82回国会議員懇談会
JR連合は4月23日、第82回国会議員懇談会を開催し、榛葉賀津也会長(参議院議員)をはじめとする国会議員懇談会の所属議員・議員秘書、およびJR各単組の代表者らが出席した。

議事の冒頭、小川淳也事務局長(衆議院議員)の司会「貨物鉄道へのモータリゼーションの現状や能登半島地震でも見られた災害からの復旧など、鉄道を取り巻く環境は厳しく、課題が山積している。今日も忌憚のない意見交換を行いたい」と挨拶した。

交通重点政策2023
「交通重点政策2023」(2024(補足版))を用いて当面する重要交通政策課題についての説明を行った。まず、物流・建設業の2024年問題に関連する貨物鉄道へのモータリゼーションや課題、電気系統の工事に係る課題、JR北海道の経営や単独維持困難線区に係る課題、地域交通法施行に伴う地域公共交通に係る課題、

北陸新幹線や北海道新幹線等整備新幹線に係る課題、価格転嫁しにくい運賃・料金制度の課題、カーボンニュートラル実現に向けた課題、JR間の連携に係る課題など、特に重要課題について共有した。

「令和6年能登半島地震」連合 救援ボランティア

令和6年能登半島地震
連合 救援ボランティア

議事の冒頭で国会議員懇談会の幹事就任について確認された田田議員は、衆議院議員時代に国会議員懇談会幹事を務めた際、JR二島貨物会社の経営自立に向けて取り組むなど鉄道政策に詳しく、「(コロナ禍で傷んだJRの)反転攻勢に向けたきつかけ作りをした」との挨拶を述べた。

田田議員に就任した田田議員

田田議員に就任した田田議員

田田議員に就任した田田議員

田田議員に就任した田田議員

田田議員に就任した田田議員

